

# 当事者意識

- 新入生歓迎会の時に、私は1年生に向けて、「自分は生徒会の一員なんだ…と実感できた人？」と聞きました。
- 今日は全校生徒のみんなに聞いてみたいと思います。率直なあなたの思いを挙手で届けてください。  
「自分は責任ある生徒会の一員だと思う。」 そう思う人は挙手してください。
- もう一つ、聞いてみたいと思います。  
「自分で生徒会や学校を変えられると思う。」 そう思う人は挙手してください。
- 今から6年前、日本財団というところが、9か国を対象に18歳の意識調査を行いました。9か国というのは、日本・インド・インドネシア・韓国・ベトナム・中国・イギリス・アメリカ・ドイツです。
- この意識調査には、私が皆さんに質問した内容と似たような質問がありました。  
「自分は責任ある社会の一員だと思う。」 「自分で国や社会を変えられると思う。」
- 日本の18歳はどのような結果だったと思いますか？どちらも「はい」と回答した人の割合は、9か国中最下位でした。「自分は責任ある社会の一員だと思う。」に「はい」と回答したのは、44.8%、「自分で国や社会を変えられると思う。」に「はい」と回答したのは、18.3%でした。
- 今日、私が皆さんに伝えたいことは一つです。それは、「当事者意識」をもってほしいということです。「当事者意識」とは、物事や問題を自分事と捉え、責任をもって主体的に関わろうとする意識のことです。
- ちなみに、「当事者意識」の反対語は「傍観者意識」です。物事や問題に対して他人事と捉え、自分の責任や関わりがないと感じている状態のことを言います。
- 今日の生徒総会、あなたの心の中にあったのは、「当事者意識」「傍観者意識」のどちらだったでしょうか。
  
- 私は、皆さんが18歳になったとき、「自分は責任ある社会の一員だと思う。」 「自分で国や社会を変えられると思う。」と自信をもって答えることができるようになってほしいと思っています。
- そのためにも、「自分で、自分たちで、生徒会や学校を変えることができる。」という本物の経験を、この美香保中で確実に積み上げてほしいのです。
- 当事者意識をもって、〈笑顔の華が咲く生徒会〉を創り上げてください。  
自分は必要とされている…という自覚と責任をもってください。